

情報公開文書

西暦 2025年 8月 21日作成

項目		
試料・情報の 利用目的及 び利用方法	研究課題名	ルビプロストンと酪酸菌製剤併用における腎不全進行抑制の影響
	研究目的	慢性腎不全患者における便秘の有病率は高いと言われている。便秘症治療薬のルビプロストンは、腸内環境を改善し毒素減少につながったと報告がある。酪酸菌製剤は、腸内腐敗産物を減少させ、腎不全の進行を抑制した研究結果がある。そこで、2022年4月から2025年3月の間にルビプロストンと酪酸菌製剤を併用した患者とルビプロストン単独内服患者における腎機能の変動と血清リン値の変動を比較した。
	研究方法	電子カルテを用い、後方視的に調査
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	2025年8月21日～2026年3月31日
利用する試料・情報の項目（チェック[X]のある項目を利用します）	[]情報：	[]診断名（臨床病期や分類、病理診断を含む）、[X]年齢、[X]生年月日、[X]性別、[]既往歴、[]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他（具体的に記載：）
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	薬剤部 田辺 真里
	共同研究者	薬剤部 奥村梨央 高山直也 細田菜摘 出千紘 加藤一郎
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	済生会横浜市南部病院 薬剤部 連絡先 045-832-1111 利用停止のお申し出は研究終了日までにはお願いします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	